

# 令和2年度 第1回広島市感染症対策協議会

令和2年4月20日

- 【日時】 令和2年4月20日（月）19:00～20:00  
【場所】 広島市役所 14階第7会議室  
【出席者】 小林 正夫、坂口 剛正、石川 暢久、吉岡 宏治、高橋 宏明、新甲さなえ、  
堂面 政俊、増田 裕久、藤本 三喜夫、長岡 義晴、松原 啓太、南 心司

## 1 感染症に関する最近の情報

### (1) 新型コロナウイルス感染症に係る対応等について（資料1 P1～22）

令和2年4月20日現在、本市において65名の新型コロナウイルス感染症の感染者が報告されており、このうち、A社会福祉施設で47名が、グループの会食で4名が感染する、2つのクラスター（感染者の集団）が発生している。

本市においては、感染拡大の防止対策として、感染者が確認された際には、国立感染症研究所が定めた「新型コロナウイルス感染症患者に対する積極的疫学調査実施要領」に基づき、当該感染者の詳細な行動歴の確認を行った上で、濃厚接触者あるいはその可能性のある者に対し、患者との接触状況や健康状態についての把握など、積極的疫学調査を実施している。また、無症状病原体保有者（症状はないが検査で陽性となった者）についても、県等と協議し、積極的疫学調査等、患者（有症状者）に準じた対応を行っており、こうした積極的疫学調査の結果をもとに、当該濃厚接触者に対し、健康観察（毎日の体温確認等）と、必要に応じてPCR検査を適切に実施している。2件のクラスター事案については、厚生労働省が派遣するクラスター対策班の助言・指導も仰ぎながら、感染拡大の防止措置を図り、収束に向け必要な措置を実施しているところである。

今後も感染者数の増加が見込まれることから、広島県や医師会等と連携を図り、帰国者・接触者外来の増設や機能拡充による外来診療体制の強化、感染症指定医療機関以外での入院患者の受入れによる病床の確保、さらには宿泊施設を使用した軽症患者の療養環境整備など、医療提供体制の整備を図っている。

（委員意見）

- ・ 引き続き、感染者の発生動向を注視するとともに、行政と医療機関とが連携して感染拡大防止に努めてほしい。
- ・ 感染者数の増加を踏まえ、医療崩壊や医療従事者の感染防止に向けた対策も行ってほしい。

### (2) 入国前結核スクリーニングの実施について（資料1 P23～25）

令和2年3月26日、厚生労働省から、「我が国における結核患者数が多い国の国籍を有する者のうち、我が国に中長期間在留しようとする者に対して、入国前に結核に罹患していないことを求める入国前結核スクリーニングを導入することとした。」旨の通知があった。

我が国の結核は、人口10万人あたりの結核罹患率及び患者数ともに年々減少しているが、未だに国内で年間約15,000人が結核を発症し、2,000人が結核により死亡している。近年、我が国においては外国生まれの患者数が増加傾向にあり、平成30年の新登録結核患者数のうち外国生まれの患者数は1,667人（前年比137人増）となった。特に、多数に感染させる可能性が高い若年層で増加傾向にあり、罹患率の高い国の出生者が日本滞在中に発症するケースが見受けられる。このような発生状況に鑑みて、入国前結核スクリーニングを実施することとなった。

なお、開始時期は、令和2年7月1日以降に準備の整った対象国からの中長期在留予定の対象者について、その在留資格認定証明書交付申請、又は在留資格認定証明書を必要としない場合には在外公館で審査を行う査証申請から順次実施することとしている。

(委員意見)

特になし

### (3) 流行性角結膜炎の届出基準改正について(資料1 P26~28)

令和2年4月1日より、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第12条第1項及び第14条第2項に基づく届出の基準等について」の別紙「医師及び指定届出機関の管理者が都道府県に届け出る基準」が改正施行され、流行性角結膜炎の届出基準(届出のために必要な要件)について、臨床症状の項目が改正されるとともに、検査所見が追加され、アデノウイルス抗原又は遺伝子の検出が必須となった。

(委員意見)

- ・ 眼科医への周知を行ってほしい。

## 2 3月の定点把握対象感染症発生状況《公開》(資料2、3)

※感染症法に定められた感染症のうち、指定された医療機関のみが報告を行う感染症

### 3 全数把握対象感染症の発生状況《公開》

区分	病名	令和2年3月分	令和2年4月分
		報告日 3/2~4/5	報告日 4/6~4/16 現在
2類	結核	9人 (結核7人、潜在性結核2人)	3人 (結核2人、潜在性結核1人)
3類	パラチフス	1人 (3/19)	
4類	E型肝炎	1人 (3/31)	
	A型肝炎	1人 (3/23)	
	レジオネラ症	1人 (3/23)	1人 (4/9)
5類	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1人 (3/10)	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1人 (3/12)	
	後天性免疫不全症候群		2人 (4/8(2人))
	侵襲性肺炎球菌感染症	6人 (3/2、3/4、3/9、3/16、3/19、3/27)	
	梅毒	3人 (3/5、3/31、4/1)	3人 (4/6、4/7、4/10)
	百日咳	12人 (3/2、3/4、3/6(2人)、3/11、3/16、3/18(3人)、3/25、4/3(2人))	4人 (4/6、4/9、4/13、4/15)
指定感染症	新型コロナウイルス感染症	9人 (3/9、3/25、3/28(2人)、4/1(4人)、4/3)	47人 (4/6(3人)、4/7、4/9、4/10、4/14(41人))

( ) は届出日

### 4 その他《公開》

次回開催予定日 令和2年5月18日(月) 14階第7会議室

#### 【資料】

資料1：最近の感染症情報

資料2：3月の感染症の概要

資料3：定点把握五類感染症(月報対象)の長期的変動

# 広島市感染症対策協議会コメント（4月分）

令和2年4月20日

## 1 患者情報

### (1) 概要

定点からの内科・小児科・眼科系疾患の患者報告数は、3月は923人で、前月比0.35と大きく減少した。

突発性発しんはやや増加、咽頭結膜熱はほぼ横ばい、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、水痘、伝染性紅斑はやや減少、インフルエンザ、感染性胃腸炎、RSウイルス感染症は大きく減少した。

### (2) 特記事項

- 広島県内において新型コロナウイルス感染症の感染者数が増加しており、4月13日に、広島県は「広島県感染拡大警戒宣言」を発出した。また、全国的に感染拡大が懸念されており、4月7日に、7都府県（東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県、大阪府、兵庫県、福岡県）に対して緊急事態宣言が発令され、4月16日には対象地域が全都道府県に拡大された。

感染の予防、拡大防止には、「不要不急の外出を控える、手洗いや咳エチケットの励行、換気が悪く、人が密に集まって過ごすような空間（密閉空間・密集場所・密接場面）は避ける」などの対策を徹底することが重要である。

- 麻しん、風しんの感染予防にはワクチン接種が最も有効であり、定期接種対象者（1歳児、小学校入学前1年間の幼児）は早めに接種することを推奨する。また、広島市では、国の方針に基づき、平成31年度から2022年3月31日までの3年間に限り、成人男性（1962年（昭和37年）4月2日～1979年（昭和54年）4月1日生まれの男性）に対する風しんの抗体検査及び予防接種事業を実施しており、対象者は抗体検査と予防接種を受けることを推奨する。

### (3) 3月の1類～5類感染症（全数報告）患者発生数

- 1類感染症：なし
  - 2類感染症：結核 9件（患者：7件、潜在性結核：2件）
  - 3類感染症：パラチフス 1件
  - 4類感染症：E型肝炎 1件  
A型肝炎 1件  
レジオネラ症 1件
  - 5類感染症：カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1件  
劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1件  
侵襲性肺炎球菌感染症 6件  
梅毒 3件  
百日咳 12件
- 指定感染症：新型コロナウイルス感染症 9件

### (4) 今後の流行予測

新型コロナウイルス感染症の発生動向に注意が必要である。それ以外は該当なし。

## 2 検査情報

3月の検査結果判明分

臨床診断名	検出病原体	検体採取月	患者数
インフルエンザ	インフルエンザウイルス A(H1N1)2009 型	2020 年 2 月	3 人
インフルエンザ 感染性胃腸炎	インフルエンザウイルス A(H1N1)2009 型	2020 年 1 月	1 人
感染性胃腸炎	ノロウイルス GII	2020 年 2 月	1 人
感染性胃腸炎 その他の神経系疾患	ライノウイルス	2020 年 1 月	1 人
手足口病	コクサッキーウイルス A16 型	2020 年 2 月	1 人
急性出血性結膜炎	アデノウイルス 37 型	2020 年 1 月	1 人
無菌性髄膜炎	エコーウイルス 30 型	2019 年 11 月	1 人
その他の呼吸器疾患 (咽頭炎)	ヒトメタニューモウイルス ライノウイルス	2020 年 2 月 2020 年 2 月	1 人 1 人
その他の呼吸器疾患 (上気道炎)	*1 ライノウイルス *1 RS ウイルス *1 アデノウイルス 1 型 *2 エコーウイルス 30 型 *2 ヒトコロナウイルス OC43	2020 年 2 月 2020 年 2 月	1 人 1 人
その他の呼吸器疾患 (肺炎)	ヒトメタニューモウイルス	2020 年 2 月	1 人
その他の消化器疾患 (腸重積症)	パレコウイルス 1 型	2019 年 11 月	1 人
その他の疾患 (川崎病)	インフルエンザウイルス A(H1N1)2009 型	2020 年 1 月	1 人

\*1～2 : 複数病原体検出例

16 人の患者から 11 種類のウイルス 19 株が検出された。検出ウイルスの内訳は、インフルエンザウイルス A(H1N1)2009 型 5 株、ライノウイルス 3 株、エコーウイルス 30 型、ヒトメタニューモウイルス各 2 株、RS ウイルス、アデノウイルス 1 型、同 37 型、コクサッキーウイルス A16 型、ノロウイルス GII、パレコウイルス 1 型、ヒトコロナウイルス OC43 各 1 株であった。

5類感染症定点情報  
(令和2年3月解析分)

1. 週報対象(第10週～第14週)

No.	疾患名	発生記号	報告数	定点当たり	今後の予測	No.	疾患名	発生記号	報告数	定点当たり	今後の予測
1	インフルエンザ	↓	187	5.20		10	流行性耳下腺炎		5	0.20	
2	咽頭結膜熱	⇨	48	2.09		11	RSウイルス感染症	↓	24	1.03	
3	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	⇩	180	7.82		12	急性出血性結膜炎		1	0.13	
4	感染性胃腸炎	↓	313	13.60		13	流行性角結膜炎		12	1.51	
5	水痘	⇩	36	1.56		14	細菌性髄膜炎		-	-	
6	手足口病		8	0.34		15	無菌性髄膜炎		-	-	
7	伝染性紅斑	⇩	33	1.44		16	マイコプラズマ肺炎		8	1.15	
8	突発性発しん	⇩	33	1.43		17	クラミジア肺炎		-	-	
9	ヘルパンギーナ		4	0.17		18	感染性胃腸炎(ロタウイルス)		6	0.86	

2. 月報対象(3月)

No.	疾患名	発生記号	報告数	定点当たり
1	性器クラミジア感染症	⇩	56	6.22
2	性器ヘルペスウイルス感染症	⇩	17	1.89
3	尖圭コンジローマ	↑	15	1.67
4	淋菌感染症	⇩	18	2.00
5	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	⇨	23	3.29
6	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		2	0.29
7	薬剤耐性緑膿菌感染症		-	-

発生記号

前月と比較しておおむね1:2以上の増減	↑	↓
前月と比較しておおむね1:1.5~2の増減	⇨	⇩
前月と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減	⇨	⇩
ほぼ横ばい(発生件数少数のものを含む)	⇨	

予測記号

流行始まり	①
流行中	②
流行終息傾向	③
終息	④

全数把握感染症報告数(令和2年3月分)

第10週～第14週(3月2日～4月5日)報告分

類型	疾患名	広島市		全国		
		報告数	累積	報告数	累積	
一類	1 エボラ出血熱	-	-	-	-	
	2 クリミア・コンゴ出血熱	-	-	-	-	
	3 痘そう	-	-	-	-	
	4 南米出血熱	-	-	-	-	
	5 ペスト	-	-	-	-	
	6 マールブルグ病	-	-	-	-	
	7 ラッサ熱	-	-	-	-	
二類	8 急性灰白髄炎	-	-	-	-	
	9 結核	9	33	1,648	4,424	
	10 ジフテリア	-	-	-	-	
	11 重症急性呼吸器症候群	-	-	-	-	
	12 中東呼吸器症候群	-	-	-	-	
	13 鳥インフルエンザ(H5N1)	-	-	-	-	
	14 鳥インフルエンザ(H7N9)	-	-	-	-	
三類	15 コレラ	-	-	-	-	
	16 細菌性赤痢	-	-	20	37	
	17 腸管出血性大腸菌感染症	-	3	74	268	
	18 腸チフス	-	-	5	12	
	19 パラチフス	1	1	5	6	
四類	20 E型肝炎	1	3	63	161	
	21 ウエストナイル熱	-	-	-	-	
	22 A型肝炎	1	1	9	44	
	23 エキノコックス症	-	-	2	6	
	24 黄熱	-	-	-	-	
	25 オウム病	-	-	1	3	
	26 オムスク出血熱	-	-	-	-	
	27 回帰熱	-	-	-	-	
	28 キャサヌル森林病	-	-	-	-	
	29 Q熱	-	-	-	-	
	30 狂犬病	-	-	-	-	
	31 コクシジオイデス症	-	-	-	1	
	32 サル痘	-	-	-	-	
	33 ジカウイルス感染症	-	-	1	1	
	34 重症熱性血小板減少症候群	-	-	3	7	
	35 腎症候性出血熱	-	-	-	-	
	36 西部ウマ脳炎	-	-	-	-	
	37 ダニ媒介脳炎	-	-	-	-	
	38 炭疽	-	-	-	-	
	39 テクングニア熱	-	-	1	3	
	40 つつが虫病	-	-	-	56	
	41 デング熱	-	1	9	37	
	42 東部ウマ脳炎	-	-	-	-	
	43 鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く。)	-	-	-	-	
	44 ニバウイルス感染症	-	-	-	-	
	45 日本紅斑熱	-	-	2	8	
	46 日本脳炎	-	-	-	1	
	47 ハンタウイルス肺症候群	-	-	-	-	
	48 Bウイルス病	-	-	-	-	
	49 鼻疽	-	-	-	-	
	50 ブルセラ症	-	-	-	1	
	51 ベネズエラウマ脳炎	-	-	-	-	
	52 ヘンドラウイルス感染症	-	-	-	-	
	53 発しんチフス	-	-	-	-	
	54 ポツリヌス症	-	-	-	-	
	55 マラリア	-	-	2	9	
	56 野兎病	-	-	-	-	
	57 ライム病	-	-	-	1	
	58 リッサウイルス感染症	-	-	-	-	
	59 リフトバレー熱	-	-	-	-	
	60 類鼻疽	-	-	-	-	
	61 レジオネラ症	1	3	119	367	
	62 レプトスピラ症	-	-	-	1	
	63 ロッキー山紅斑熱	-	-	-	-	
	五類	64 アメーバ赤痢	-	2	73	163
		65 ウイルス性肝炎	-	-	28	66
		66 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	6	135	382
		67 急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く。)	-	-	2	7
		68 急性脳炎	-	3	49	237
		69 クリプトスポリジウム症	-	-	-	1
		70 クロイツフェルト・ヤコブ病	-	-	17	34
		71 劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	5	81	250
		72 後天性免疫不全症候群	-	2	90	244
		73 ジアルジア症	-	-	6	11
		74 侵襲性インフルエンザ菌感染症	-	2	24	120
		75 侵襲性髄膜炎菌感染症	-	-	2	10
		76 侵襲性肺炎球菌感染症	6	10	212	729
		77 水痘(入院例に限る。)	-	-	30	107
		78 先天性風しん症候群	-	-	-	1
		79 梅毒	3	22	521	1,382
		80 播種性クリプトコックス症	-	-	10	29
		81 破傷風	-	-	11	22
		82 バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	-	-	-	-
83 バンコマイシン耐性腸球菌感染症		-	-	15	36	
84 百日咳		12	30	711	2,088	
85 風しん		-	-	17	73	
86 麻しん		-	-	4	10	
87 薬剤耐性アシネトバクター感染症		-	-	-	2	
指定	88 新型コロナウイルス感染症	9	9	3,468	4,202	